

福島も知って! つながって! 応援しよう!

～東日本大震災・東京電力福島第一原発事故から13年～
鳥取県生協では、福島とのつながりを大切に、震災と原発災害の継承と支援の取り組みを続けています。

東日本大震災・原発事故から13年が経過しました。あれから13年、メディアでの報道も少なくなってくる中、震災や原発事故を知らない世代も増えていき、福島で起きたことが過去のように忘れ去られていないでしょうか? 福島は大地震、大津波、原発事故に見舞われました。未曾有の複合災害を経験し、今も復興をめざしてがんばっています。

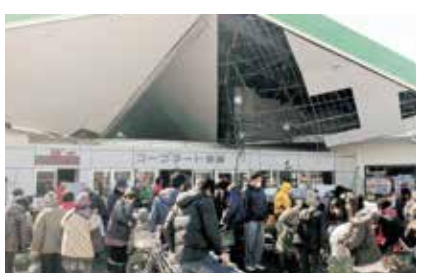


みやぎ生協・コープふくしま 池町江美子さん
みやぎ生協・コープふくしま 斎藤恵理子さん

これまでのことを振り返りつつ、福島の今、そしてこれからのことを、みやぎ生協・コープふくしまの池町さん、斎藤さんにうかがいました。

1. 東日本大震災・東京電力福島第一原発事故発災当時のこと

2011年3月11日東日本大震災が発生、これまで経験したことがない激しい長い揺れと東日本の沿岸部には大津波が押し寄せました。さらに東京電力福島第一原発が過酷事故を引き起こし、放射性物質が拡散され、12市町村に避難指示が出されました。私たちのくらしは一瞬にしてその様相が変わりました。



▲地震で天井が崩れた保原店。震災直後から組合員の暮らしを支えるために店頭で販売を継続しました。



▲屋内退避指示が出され流通がストップした南相馬市の道の駅にて移動販売を行いました。

3. 現在の思い・これからの向けてのメッセージ

現在も鳥取県のみなさまをはじめ、全国からたくさんの元気をいただいていることが励みになっています。また福島の実況や起きたことを忘れないため、福島に足を運んでの被災地視察など、寄り添っていただいていることに感謝申し上げます。引き続き、鳥取県のみなさまにもつながっていただければと考えています。まだまだ復興は道半ばです。今後ともご支援よろしくお願いいたします。



富岡町の夜ノ森の桜並木。2022春にようやく規制が解除されました。



震災遺構・浪江町立請戸小学校にて。

2. 13年間取り組んできたこと・向き合ってきたこと

見えない放射能への恐怖に向き合い、組合員の不安に寄り添いながら、外部被ばく調査や放射能の学習会、食事調査などに取り組みました。

風評被害に苦しむ生産者応援では、「各生協独自の福島応援企画」や「福島応援隊」など、事業を通して全国のみなさまからたくさんのご注文とあたたかい応援をいただきました。避難生活者への寄り添い活動では、全国の生協のみなさまの力をお借りしながら、地域コミュニティづくりの一助として、ふれあいサロン活動に取り組んできました。



▲サロン活動の様子、全国のみなさまから様々な、ご当地のお菓子を届けていただきました。

4. 福島の魅力って

寒流(親潮)と暖流(黒潮)がぶつかる「潮目の海」で育った魚介類は「常盤もの」として高く評価されています。果物の生産も盛んで四季折々の味覚を楽しめます。お米、日本酒、川俣シャモなどのおいしい食べ物、福島の桃源郷とも言われる百花繚乱の花見山や、鶴ヶ城(会津若松城)などの観光名所も有名です。そして最大の魅力はなんといっても…「人の温かさ」です♡是非福島に来ていただいて、自然の恵みと人の温かさを感じていただきたいです!



福島とつながろう! 学ぼう! 応援しよう! 学習交流会 を開催します。

日時 2024年 4月3日(水) 10:00~11:45 (受付 9:45~)

会場 東部支所・中部支所・西部支所 (定員:各会場20名まで)
自宅からオンライン参加もできます。(要事前予約)

内容 コープふくしまより職員2名をお招きして、各支所をオンラインでつなぎ、福島の実況についてお話を伺い、意見交流を行います。

申し込み締切日 3月22日(金)



お問合せ / 鳥取県生協組合員活動グループ
☎ 0858-85-0019 (月~金 9:00~17:00)

お申込み方法

注文書・eふれんすからお申込み
参加される会場の注文番号(右記)と参加人数を注文用紙にご記入ください。
OCRカード4~6桁 注文欄へご記入ください。

会場	注文番号	注文数
東部支所	17949	参加人数
中部支所	17957	参加人数
西部支所	17965	参加人数

Googleフォームからお申込み
右記の二次元コードを読み取って必要事項をご入力ください。
★ご自宅からオンライン参加の方はこちらから入力ください。後日、参加URLをご案内いたします。

